



ROCK PAINT

水性2液高付着カチオン系エポキシシーラー

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

ハイパーシーラーアクア (透明)

高性能オールラウンドシーラー!!

【有機・無機の全下地に対応!】

特長

戸建住宅塗り替えで、難付着とされます無機系材、並びに光触媒等の表面処理がされた窯業系サイディングボード塗り替えにおいて、高付着性を実現しました。

環境対応型水性タイプのため、扱いやすくなっています。旧塗膜や素地によく浸透し、付着性にすぐれています。

多用途性

浸透性

高付着性

サイディングボード対応

適用素地

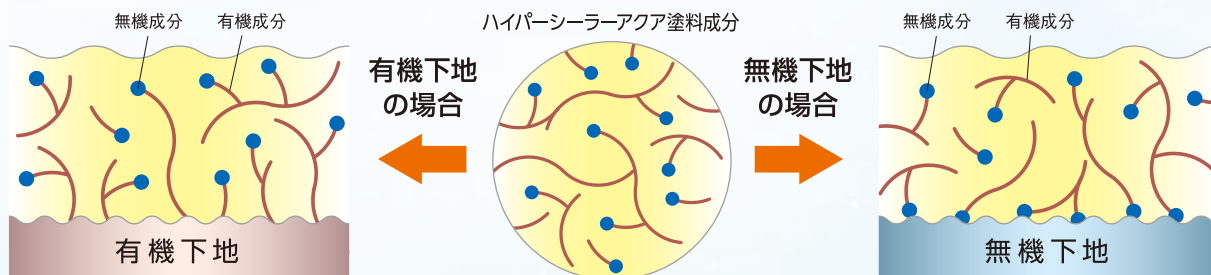
- 窯業系サイディングボード全般
- 無機系素材
屋内外コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、スレート板、押出成形板、GRC板、PC板・けい酸カルシウム板 ※1
- 各種新屋根材 ※1・※2
住宅用化粧スレート(カラーベストなど)、セメント瓦、波形スレート ※3
- 有機系素材 ※4
硬質塩ビ、FRP、木部

- ※1 素地の吸い込みが著しい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。また、シーラー乾燥後にガムテープなどで付着の有無を確認してください。
- ※2 磁器タイル、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)、アスファルトシングル材には適しません。洋風瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)への塗装は最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ※3 波形スレートは塗り替え用です。
- ※4 樹脂面、木部には塗装前に十分な表面荒らしが必要です。

ハイパーシーラーアクアの有機・無機、両下地対応のメカニズム

(イメージ図)

有機下地には有機成分が、無機下地には無機成分が付着。幅広い下地に対応します。



ロックペイント

ハイパーシーラーアクア(透明)

用途

- 戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築内外部壁面及び屋根などの下塗り(屋外、屋内共に使用できます) ※旧塗膜の種類によってはリフティングを起こすことがありますので、試し塗りを行ってください。

適応上塗塗料

- 水性…ハイパービルロックセラ、サンフロンアクア 等
- 溶剤…ハイパーユメロック、サンフロンUV 等

品番・容量

- 主剤:033-7700 ハイパーシーラーアクア 14kg
- 硬化剤:033-7910 ハイパーシーラーアクア 硬化剤 1kg

使用方法

- 塗装方法:ハケ・ローラー・エアレス
- 希釈剤・希釈率:水道水(通常希釈不要)
- 配合比(重量):主剤:硬化剤=14:1
- 塗装回数:1回
- 標準塗付量:0.08～0.13kg/m²・回
- 標準塗面積:115～187m²/15kgセット・回
- 可使用時間:12時間(23℃)
- 乾燥時間

	5℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	2時間	1時間	30分
塗り重ね可能時間	6時間以上	4時間以上	2時間以上

施工上の注意事項

- 本製品はカチオン性であり、一般的な水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ・ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。
- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- さび缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類はサビが発生するおそれがあります。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてきたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー S」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れを起こすことがあります。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。

- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化度合いによっては粘着材の強いテープにより塗膜が多少剥離する場合がありますので注意してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 素地の吸い込みが大きい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。素地の下地処理の状況や素地の種類、含水率などにより塗付量が大幅に変わります。標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 上塗りに強溶剤型塗料を使用することは避けてください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こしますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 防錆性はありません。金属部への下塗り塗装にはサビなどを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を使用してください。またこのシーラーを金属部分に塗装した場合、サビが発生することがあります。
- 葎木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜が白化、ふくれ、剥離が発生することがありますので、養生シートの設定方法などに配慮し、換気を促してください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- アスファルトシングル材、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)への塗装は避けてください。
- 洋風瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦)への塗装は最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 硬化剤を配合した塗料は可使用時間内に使いきってください。
- 高温下では硬化反応が著しく早まります。塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- 屋根に塗装する場合、露出している屋根材の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装は避けてください。(瓦を張り替えが望ましい)
- このカタログに記載されている適応上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

安全衛生上および取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

- 目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。

【施工後の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等

を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

【取扱の注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
 - 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
 - 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
 - よくふたをし直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- ※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部	〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目3番2号	TEL (03)3640-6000	FAX (03)3640-9000
大阪営業部	〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	TEL (06)6473-1650	FAX (06)6473-1000
札幌営業部	〒003-0011 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号	TEL (011)812-2761	FAX (011)812-9304
仙台営業部	〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201	TEL (022)349-8677	FAX (022)283-3255
西関東営業部	〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号	TEL (042)700-3111	FAX (042)700-3112
名古屋営業部	〒454-0059 名古屋市中川区福川町1丁目1番地	TEL (052)351-6500	FAX (052)361-7433
岡山営業部	〒701-1134 岡山市北区三和1000番34	TEL (086)294-1201	FAX (086)294-6966
福岡営業部	〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号	TEL (092)962-0661	FAX (092)963-1241

本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

2021.4.3000KO

販売店



スマートフォン等で読み取っていただく
ロックペイント(株)のHPをご覧ください。
<https://www.rockpaint.co.jp>